予期しないASプレフィックス

予期しないASプレフィックス

このアラームは、新しいプレフィックスが以前になかった AS の予期しない変更を検出します。モニタ対象の BGP AS から発信されるプレフィックスは、ピアしきい値の対象となる組織によって登録されていない場合、違反プレフィックスです。

考えられる検出される問題

このアラームは、新しいプレフィックスが以前に観察されなかった AS の予期しない変更またはルートリークのシナリオを特定するのに役立ちます。

関連するアラームルールの設定

このアラームルールを ASN ポリシー設定に追加する場合は、次のオプションを設定する必要があります（[外部ルーティング分析（External Routing Analysis）] > [設定（Configure）] > [ポリシー（Policies）] > [ポリシーの追加（Add Policy）] > [ASNポリシー（ASN Policy）] > [ルールの追加（Add Rule）] > [予期しないASプレフィックス（Unexpected AS Prefix）]）。

- しきい値（アドバタイズされたプレフィックスごと）
- プレフィックス サブスクリプション

例

[予期しないASプレフィックス（Unexpected AS Prefix）] アラームルールを使用して ASN ポリシーを作成し、モニタ対象の AS 15169 にリンクします。また、AS 15169 から発信されると予想されるすべてのプレフィックスにも登録されます。設定不備により、プレフィックス 8.8.0.0/24 が AS からリークされます。同時に、プレフィックス 9.9.0.0/24 は正しくアドバタイズされますが、登録されません。ピアのしきい値に応じて、これらのイベントは両方ともアラームをトリガーします。その後、プレフィックス 8.8.0.0/24 を取り消すように設定を修正し、アラームをクリアするプレフィックス 9.9.0.0/24 に登録できます。

予期しないASプレフィックス

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。